

## SOZAN Global Can-do List (教科: 日本史B)

目指す生徒像 (教科)	我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えることができる。	日本と世界の相互の関わり、地域社会や身の回りの課題、現代日本の課題について、時期や年代、推移・比較・相互の関連や現在とのつながりをなどに着目して、多面的・多角的に考察し、構想したことを表現することができる。	様々な資料を活用し、歴史的事象の意味や意義、相互の関係性などを考察することで、歴史的事象には複数の解釈が成り立つことを知り、自分の考えを根拠を持って論理的に説明できる。	持続可能な社会の実現を視野に、諸資料を活用して、地域社会や身の回りの課題、現代日本の課題に関連した主題について、自ら仮説を立て、探究することでその解決に向けて進んで貢献しようとしている。	我が国の歴史や、伝統・文化が先人の努力により形成されたこと、また国際社会やアジア近隣諸国の影響を受けてきたことを理解し、自国や他国の文化を尊重することができる。	
H2	我が国の歴史の展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えることができる。	日本と世界の相互の関わり、地域社会や身の回りの課題、現代日本の課題について、時期や年代、推移・比較・相互の関連や現在とのつながりをなどに着目して、多面的・多角的に考察し、構想したことを表現することができる。	様々な資料を活用し、歴史的事象の意味や意義、相互の関係性などを考察することで、歴史的事象には複数の解釈が成り立つことを知り、自分の考えを根拠を持って論理的に説明できる。	持続可能な社会の実現を視野に、諸資料を活用して、地域社会や身の回りの課題、現代日本の課題に関連した主題について、自ら仮説を立て、探究することでその解決に向けて進んで貢献しようとしている。	我が国の歴史や、伝統・文化が先人の努力により形成されたこと、また国際社会やアジア近隣諸国の影響を受けてきたことを理解し、自国や他国の文化を尊重することができる。	
H1						

## SOZAN Global Can-do List (教科: 地理B)

目指す生徒像 (教科)	我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を十分理解し、その知識を幅広く身に付けている。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりして、適切に表現できる。	現代世界の地理的事象から課題を見いだして系統的・地誌的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できる。	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての責務を果たそうとすることができる。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することができる。	
H2	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を十分理解し、その知識を幅広く身に付けている。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりして、適切に表現できる。	現代世界の地理的事象から課題を見いだして系統的・地誌的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できる。	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての責務を果たそうとすることができる。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することができる。	
H1						

## SOZAN Global Can-do List (教科: 世界史A・世界史B)

目指す生徒像 (教科)	我が国及び世界の様々な社会的事象に深い造詣を持ち、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家形成を形成するための自覚と資質・能力を持つ生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情緒的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3 世界史B	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を幅広く身に付けている。	世界の歴史から課題を見いだし、時期や年代、推移・比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、歴史の視野から考察し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責務を果たそうとすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象に対する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとすることができる。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することができる。	
H2 世界史B	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を幅広く身に付けている。	世界の歴史から課題を見いだし、時期や年代、推移・比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断できる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、歴史の視野から考察し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責務を果たそうとすることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象に対する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとすることができる。	多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国や世界の諸地域の多様な生活文化を尊重することができる。	
H1 世界史A	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断しようとする事ができる。	世界の構造や成り立ちを歴史的視野から考察し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責務を果たそうとすることができる。	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとすることができる。		
J3						
J2						
J1						

# SOZAN Global Can-do List (教科： 数 学 )

目指す生徒像 (教科)	数学的活動を通して、事象を考察し表現する能力を高め、論拠に基づいて判断できる生徒					
育成する資質能力	認知的スキル			非認知的スキル (社会情動的スキル)		
	自身が所属する社会の幸福を実現することができる			自他の幸福を創造し続けることができる		
	①幅広く深い教養	②課題発見・解決能力	③新たな価値を創造する力	④主体的に行動する力	⑤他者と協働する力	⑥自他を尊重する心
H3	<ul style="list-style-type: none"> <li>応用問題を体系的に理解するとともに、これまで学習した知識を基にして、様々な事柄を、数学的に解釈し、表現・処理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決に向けて、既習の知識を数学的に関連付け、発展的に思考することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な人間の活動が数学と関わっていることに着目し、様々な事象に数学の構造を見だし、数学的思考・知識を生かして考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら考えた解答を基に、数学的な見方・考え方から論証に基づいて判断したり、数学の学習に対して自分の意見を見だし、評価・改善したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ学習等の場面において、自分の考えを伝え合い、他者と協働しながら相手の考えを理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ学習等の場面において、生徒同士が、数学的な教材で互いの考え方を認め合い、教え合い、学び合うことで、存在意義を認め合うことができる。</li> </ul>
H2	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題の解決に当たって、学習した知識等を基に一般的な方策などを見つけて、それを適切に表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の持てる知識・技能をすべて活用して、課題解決に取り組み、数学的な資質・能力を伸ばすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学が様々な事象の考察に活用されていることを知り、現代社会における諸問題に対して、数学的思考・知識をどう生かしていくかを考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ある課題に関心を持ち、その解決に当たって、数学的な見方・考え方のよさを生かした自分の意見を見だし、それを発信することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ学習等の場面において、自分の考えを相手に伝えることができ、また相手の考えを理解することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ学習等の場面において、主体的に他者の意見や自分の意見を整理・統合し、よりよい方向にもっていくことができる。</li> </ul>
H1	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決に向けて、既習の知識を関連付けることができる。また、解決の過程や結果を批判的に考察し判断することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>粘り強く考え数学的論証に基づいて判断したり、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、学習に対して評価・改善したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>互いに自分の考えを表現し伝え合い、他者と協働しながら課題解決に向けた取り組みができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒同士が、互いの多様な考え方を認め合い、学び合うことで、より深い理解に到達することができる。</li> </ul>
J3	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の概念の幅を更に広げ、式についてより進んだ考え方や扱い方を理解し活用することができる。</li> <li>図形の性質や計量について一層深く考察することや見いだした性質や定理を具体的な場面で活用することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の周りの事象について数学的にとらえ、数学を用いて解決することができる。</li> <li>解法や根拠となる事柄を精選することができる。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の考えを分かりやすく伝えたり、相手の考えを基に考えたりすることができる。</li> <li>コミュニケーションにおいて、話すだけでなく、読む人を意識した証明ができた、積極的に数学用語を使って話したりすることができる。</li> <li>話し合いを通して、より良い解法を導き出すことができる。</li> </ul>	
J2	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の文字を用いた基本的な操作ができ、数量の関係を一般的、能率的に考察し、処理することができる。</li> <li>図形の性質などを、観察、調査や実験などの活動を通して見だし、それを論理的に確かめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の目的に合わせて必要な情報を収集し、手順・手段を精選することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えと他者の意見を比較し、より良い解法を見いだそうとすることができる。</li> <li>課題学習などを通して、数学と他教科との関わりや、数学と現代社会との関わりを見いだそうとすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1つの問題をグループで話し合う中で、質疑したり、自己や他者の意見をまとめたり、他者の解法の良いところを取り入れたりと、積極的に意見交換ができる。</li> <li>自分の考えを伝えることができ、他者の意見に耳を傾けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の考えを分かりやすく伝えたり、相手の考えを取り入れようとしたりすることができる。</li> <li>コミュニケーションにおいて、話すだけでなく、読む人を意識した証明や説明ができた、積極的に数学用語を使って話したりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題学習などを通して、身近な問題を既習事項を生かして解決し、課題解決の喜びを感じたり、現代社会と数学との関わりを感じたりすることができる。</li> </ul>
J1	<ul style="list-style-type: none"> <li>数の範囲を拡張し、文字を使った式の意味を知り活用することができる。</li> <li>図形に対する直感的な見方や考え方を深め、論理的に考察し表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の周りにある数学的な事柄に興味や関心を持ち、解決のために既習事項を用いようとするすることができる。</li> </ul>				